

<お願い>

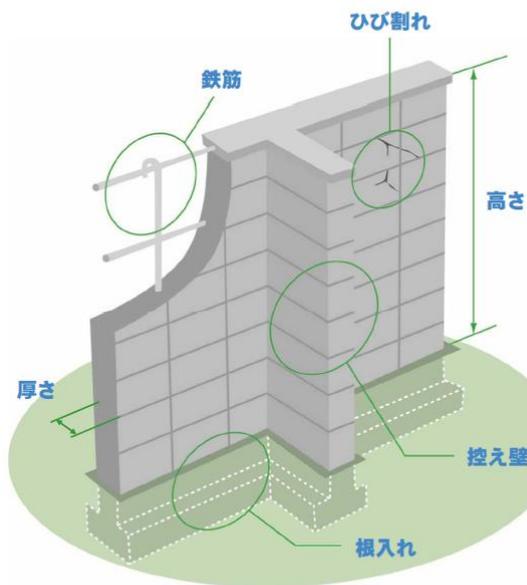
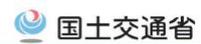
既設通学路におけるブロック塀の安全点検について

吉賀町教育委員会では、吉賀町通学路安全推進会議を設置し、児童生徒が安全に通学できるように、点検を通じて通学路の安全確保を図っています。（この実施状況は、吉賀町ホームページで確認することができます。）

このたび吉賀町通学路安全推進会議では、平成30年6月18日の大阪府北部を震源とする地震によるブロック塀の倒壊被害を受け、学校における既設のブロック塀の安全点検に取り組んでいるところですが、通学路沿いでの既存のブロック塀につきましては、児童・生徒の安全確保のために、所有者、管理者の皆様のご理解とご協力が必要であると考えています。つきましては、既存のブロック塀がある場合は、所有者、管理者の皆様により次のとおり安全点検を実施していただき、不適合なものがございましたら、安全対策を講じていただきますようよろしくお願いいたします。

ブロック塀の点検のチェックポイント

別紙1



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）
- 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

- 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。

- 5. 塀は健全か
・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか
・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

出典：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改

吉賀町教育委員会